

公表 事業所における自己評価総括表(児童発達支援)

○事業所名	児童発達支援センター おひさま		
○保護者評価実施期間	2025年11月8日 ~ 2025年11月30日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	56名	(回答者数) 27名
○従事者評価実施期間	2025年11月1日 ~ 2025年11月15日		
○従業者評価有効回数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年12月26日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・生活空間が構造化され、清潔が保たれている。	・パーテーション等を使用し、構造化を図り、過ごしやすい環境にしている。 ・毎日の清掃に加え、定期的に集中掃除や大掃除を実施し、清潔に保っている。	・対象児に合わせた教室環境にする。 ・子どもがパニックになった時や気持ちが高ぶった時に落ち着ける場所(刺激の少ない)を設定する。
2	・子どもが通所を楽しみにしている。	・子どもの興味や関心、日々の様子、課題を職員で共有し、自由遊びや制作課題、設定遊びを考えている。	・対象児の興味や関心などについての情報を全職員で共有し、ミーティングで意見を出し合う。
3	・保護者支援を丁寧に行っており、保護者の満足度が高い。	・定期的懇談や毎回利用時に受付の際、丁寧に話を聴く機会を設けている。	・保護者の会や勉強会などについて、保護者に事前アンケートをとり、希望に沿ったものを提供する。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫必要な点等
1	・地域(保育園等)との交流が少ない。	・環境の変化が苦手な児もいるため。	・夏祭りやハロウィンなどの行事を併設施設の老人ホームの入居者様と一緒に実施する。 ・はつかいちねっとに参加し、他の事業所の取り組みを知る。
2	・保護者を含めた避難訓練ができていない。	・療育中に保護者の用事で事業所を離れる人が多い。	・事前に予定に入れて保護者にお知らせし、一緒に訓練を行う。 ・どの教室でも年1回は実施する。
3			